

木馬会会報 (第104号)

* 阪神3歳牝馬S特集 *



98/12/04

～木馬達の予想～

本誌復活 トウインクルダンディ

◎パインアキナ ○コウエイロマン ▲ゴッドインチーフ

△エイシルーデンス, ヒシピナクル, ウメノファイバー, ケイズエンジェル

久しぶりに本誌復帰。ここは手堅く行くか・・・なんて考える私ではない(ついでに言えば、人気だからといって好きな馬を本命にせずに予想を外してしまうM氏のような考えもない一意固地にならずに行きましょうよ!)。本命はパインアキナ。理由は簡単、私の大好きなサクラバクシンオー産駒だから。鞍上が久保田だけに人気がないのは当然だが、その末脚は強烈。開幕週だけに先行有利のような気もするが、例年ハイペースのなか有力先行馬が崩れて荒れるだけに今回もそれを期待しよう。距離延長不安も開幕週を活かして前残りを狙うならエイシルーデンスよりもコウエイロマンが上だろう。おそらく1番人気ゴッドインチーフは、河内騎乗で普通なら本命だが、開幕週の阪神である追い込みが決まるかどうか、そして時計が速いとき対応できるかちょっと疑問符。

栄蔵の一番弟子 TP

～TPの屁理屈～

今年のメンツは、去年と非常によく似ている。人気を集めると思われるコウエイロマンは休み明け、1200しか経験がない、逃げ馬、九州産馬(といってもマークオブ～はホッカイルソーを出しており、決して早熟血統ではないのだが)、騎手が若い。また、2連勝が圧勝のエイシルーデンスは”逃げなきやだめなのよ”の逃げ馬で、騎手も若い。

去年のこのレース、穴をあけると予想した3頭がそのまま1～3着。検討が間違っていたとみて、今年も同じように絞り込んで行こう。去年の評価項目とは、

①Hペースを中段より後方で追走し、勝つか、勝ち馬から1秒以内で駆けた経験がある。

②1600を走ったことがある。

この条件を完全に満たす馬は皆無。そこで、一番条件を満たすに近い馬を探すことにした。そうすると、何の不安もない馬はゴッドインチーフだけである。1400しか経験がないというのがひっかかるが、今まで総てHペースを追い込んできた。1600に伸びるのはいいし、阪神で勝ってるし、騎手も河内なら安心だ。他は何かしら不安のある馬ばかりなので、この馬が断然の本命である。

相手筆頭はスティンガーだ。能力だけならこの馬が1番だと思うが、連闘というのが気になる。しかし、藤沢厩舎だしマイネピクシーも連闘で2着に来たことがある。前走も1600を好位で追走し案に抜け出しており、”中段より後方で”の部分以外は満たしていることになる。他はどうもいまいち気になる材料があって狙いづらいが、その中でも印をつける馬としてはケイズエンジェル。かなりセンスのある馬で1600のタイムも、上がり3Fのタイムもいいが、連闘あけというのが気になる。スタートマーチは前走重賞のHペースを追い込んで2着。しかし、それから3ヶ月の休養を取っているし、2着といっても超人気薄で、着取りに徹したのが良かったと思える。ウメノファイバーも前走追い込んで勝った。しかし馬

体がなく、しかも輸送すると銅葉があがるらしく、輸送が心配。エイシルーデンスは逃げねばならない気性が心配だが、案外あっさり逃がしてもらえれば、1400まで克服してるし、阪神でも勝っているの、粘りきる可能性はある。タヤスブルームは前走休み明けで3着はいいが、どうも決め手不足のような気がする。しかし、いったい幹夫はいつ重賞を勝つのかね?腐っても関西2位。重賞未勝利じゃいかんでしょ。それが気になるので、印はつける。

但し、現状4頭の連闘馬と3頭の1勝馬が登録しており、それらがほとんど回避して、頭数が12、3頭に落ちてしまったら上記の予想はあまり参考にできないだろう。

◎…ゴッドインチーフ

△…スティンガー, ケイズエンジェル, エイシルーデンス, スタートマーチ
ウメノファイバー, タヤスブルーム, コウエイロマン

どうでも良いことだが、フジTVのスーパー競馬を見てまたむかついてしまった。私はどうも鈴木淑子が嫌いである。すぐ泣きおって、またその感動を視聴者にも感じてもらいたいという押し付けがましい表情が、どうしてもむかついてしょうがない。「○○○の馬券を買って応援します」ってなんだ?馬券を買うことがその馬を応援することになるんか?「女の子なのに一生懸命走って…」ってじゃあ、他の馬は一生懸命走ってないんかい?年食っても一生懸命走って、出走手当てと入着賞金を啜ってくるクラウンシチーや、走っても走っても勝てない良血1勝馬アサクサトレビットには感動しないんかい?競馬をどういう視点で見ようがそれはかまわないが、自分の考えを視聴者にも共感してもらおうという姿勢がむかつくんだよ、くそばばあ。このばばあが話し出すときは、私は大川慶次郎が好きである。大川もかなりこのばばあが嫌いらしく、一言びしっと厳しいことを言って対抗してくれる。大川があの場合の意義はここにあると私は考えている。

ところで、この中山開催で私達が今年の2月(タイキの2次募集パンフレット配布後、1週間ぐらいで申し込んだのだが、すでに会員募集の段階で満口になっていた)に買おうとしていたタイキシリウスがデビューするらしい。しかもかなりの評判馬らしい。血統、馬体とも断然と考えていたこの馬が、どれほど走るのか。私たちの血統研究、馬体評価が正しかった証拠に走ってもらいたい反面、あれだけ速攻で決めたのにすでに満口になっていた悔しさから走って欲しくないという気持ちもあり、複雑な心境だ。

最近、土日は毎日何かしら馬券を買っているの、なんとなく単調な気がする。選集なんか面白くないのに馬券買ったもんなあ。これじゃあいけないな。今週はWSJSでわけわかんないし(というか、関東地区以外の特別はいつも買わないが)、ちょっと大人しめにしてみるか。現在の回収率59.8%

～ライスシャワシャワの予想はよそう～

◎…スティンガー, ○…ゴッドインチーフ, ▲…ヒシピナクル

△…ウメノファイバー, エイシルーデンス, コウエイロマン

予想の前に、私事ではありますが6日の日曜日に結婚します。今まで同期とごく一部の方(披露宴出席者)にしか話していなかったの、会社で知っている人はほとんどいない状況です。最初は東京競馬

場のゴール板の前で式を挙げるのもいいかなぁというようなふざけた考えもありましたが、極々普通の形で行うことになりました。というわけで、今週は競馬どころではない状況になってますが、予想はします。ちなみに、式場が立川のため、WINS もあり当日も馬券は買えますが、...

阪神3才牝馬Sは、JC以上に訳の分からんレース。ましてや関西馬が多くてほとんど見たことない馬だし(レース名からして当然ではあるが)。昨年のアインブライドがそうであったように「阪神では走る」とか「マイルで勝った」が大きなウェイトを占めるのは間違いない。出走馬のほとんどがセンニ、センヨン迄しか経験がないわけで、たとえ有力馬であろうともその手の馬は評価を下げたいものである。まあ、コウエイロマンのことを言ってるのであるが、確かに3連勝しかも圧勝ということで勝ち切ることもあるかもしれないが、ピワハイジが超スローに落として逃げ切った以外は逃げ馬の連対はないのである(←偉そうに書いても競馬ブックからのパクリ)。よって、好位差しの馬を狙いたい。

前置きが長くなったが、本命はスティンガー。連闘で出てくるのかわからないが、先週の赤松賞を勝って登録するくらいだから出走するのであろう。連闘&輸送と不利な材料はあるが、サイレントハピネスの下で、血統的な裏付けも十分。新馬勝ちが1800mで2戦目の前走・赤松賞が1600mでいずれも東京コースでのものであり、阪神がダメなわけがない。

相手には、アインブライドと同じコマンダーインチーフ産駒のゴッドインチーフ。いつでも伸びてくる末脚は、前走の京都から阪神へのコース替わりはプラスである。実際に前々走では、1400mではあるが阪神で勝ってるわけだし、まさしくアインブライドとだぶる。

エリザベス、マイルCS、JCを騎乗停止で棒に振った武が今週から復帰する。グローヴにしても俺が乗ってたらというのがあろうし、ここは3週間分をまとめて取り返すことが十分考えられ、3番手にはヒシピナクル。なにも武だけで3番手にしたわけではなく、この馬とて女傑ヒシアマゾン全妹である。アマゾン以降、父×ケイティーズの配合で毎年デビューしてはいるが今一つぱっとしない。アマゾンが突然変異的馬だったのかもしれないが、先物買いということで抜擢。

以下、前走で函館・新潟3才S馬を差し切ったウメノファイバー、前残りも考慮してエイシムルーデンス、コウエイロマンが押さえ。

— F E L A —

さっぱり分からない。今週あまりの忙しさで、何も調べていない。慌てて東スポを買ってきたのだが、これといったことは何も書いてない。どうしようと困っていたら、素晴らしい文章をやっと発見。「馬本意」の藤沢厩舎が連闘、長距離輸送のハンデを承知で出走に踏み切ったのは勝算ありにほかならない。なるほど! 決めた。スティンガーで勝負だ。血統も僕でも知っているSS産駒だし、2連勝しているのならきっと強いのだろう。

あとは、停止明けの武が騎乗のヒシピナクル、九州出身で何かと話題のコウエイロマン、善臣騎乗で話題のウメノファイバー、僕の好きなカーリアン産駒のタヤスブルーム、牝馬の河内騎乗のゴッドインチーフに流して勝負だ。そろそろ当たらないとまずいんだよなァ。

◎スティンガー

△ヒシピナクル、コウエイロマン、ウメノファイバー、タヤスブルーム、ゴッドインチーフ

予想はウソヨ 四国の井崎

エルコンドルパサーは強かった。ダートも滅法うまいので是非アメリカ遠征をしてもらいたい。エアグローヴは2着! 前走の入れ込みはなくパドックで良かったが、スペシャルがよれて交わせなかったの

がなあ、武騎手なら2着はあった。ワルツ理論は崩れたと思ったが、どっこい、武騎手なら前走2着、武騎手がスペシャルに乗ってればここ3着だったということで崩れていない。そう、次は1着の番だ。有馬記念は武騎手が乗るという条件で1着を今から大胆に予想する。(ほんとはもう引退したほうがいいのではと大川さんと同じ気持ちはあるが)

さて今週のG1。でもあんまりG1という気がしない。WSJSの方につ目がいってしまう。恒例のタイム評価は500万クラスをレベルに取っています。

	3走前	2走前	前走	
コウエイロマン	-1.4	+0.7	+0.5	A
エイシムルーデンス	-1.9	+0.7	+0.2	B
ウメノファイバー	-0.5	-0.3	+0.7	C上昇
タヤスブルーム	-0.8	+0.3	-0.5	
スタートマーチ	-0.2	-0.3	+0.3	
エイシムレマーズ	-0.4	+0.2	-0.7	
ゴッドインチーフ	-2.1	-0.3	-0.3	
スティンガー		-4.6	-0.1	
ヒシピナクル		-1.4	-0.5	

私は上位5頭についてはすべて前走単勝を買っています。タヤスだけ外れたけれど。上位4頭は900万クラスの時計を持っており、現時点では速いと思います。高橋亮君にはG1を取らせてやりたい。ウィンターSの◎マチカネワラウカドを捨ててこっちへ乗りに来る。1着賞金は中京の方が500万円も高いのですよ。騎手としては金よりタイトル。ここはなんとしてもG1タイトルが欲しい彼です。昨年はキュンティアで惜しくも2着。コウエイロマンならあっさり勝つ可能性は高いでしょう。小倉デビューではなく、今年が京都デビューなのです。1600mはむしろ向いていると思います。激しい先行争いに巻き込まれず、すんなり先行でき折り合えれば楽勝するでしょう。それだけの器だと思います。不安は2つ。3ヶ月振り490kgの馬体重。過去10年470kg以上の連対馬はヒシアマゾンしかいません。そこまでの馬とは思えないので不安はあります。単調そうなエイシムルーデンス、出遅れ多頭数不安のウメノファイバー、1600mは長くて持ちそうもないカネツシークレットとみんな不安だらけ。その中ではタヤスブルームがここ狙ってのローテーションと馬作りに好感を持てます。これとて鞍上の松永幹が今年重賞未勝利ときているのでもうどうしましょう。ゴッドインチーフはレース振りが非常にいいので人気になっていますが時計が足りません。こういう不安な時は予想は簡潔にしておきます。(当日の馬券は色々買いますが)

コウエイロマンの単、連はタヤスブルームとの1点。

ウィンターSは大井東京大賞典に出れないマチカネワラウカドの単。ステイヤーズSはアラバンサとマイネルパスポート。

